

平成30年 ^{うづき} 卯月（4月）のことば



『ゾウさんや〜い ^{なが はな} 長い鼻だなあ。そうさ ^{かあ} 母さんだって長いんだゾウ!』

4月8日は花祭り、お釈迦さまのお誕生日です。今年も白いゾウさんにお釈迦さまを乗せてみんなでパレードしましょう。そこで、誰もが知っている童謡「ぞうさん」ですが、作詞されたまどみちおさん（1909～2014）の気持ちを少しデフォルメすると、きっと上のような感じになるのでしょうか。キツネかタヌキかウサギかなにかが長い鼻のゾウさんに向かって「や〜い、鼻が長いな〜」とからかっても、ゾウさんは大好きなお母さんと同じ長い鼻がお気に入りなのです。同様に、金子みすゞさん（1903～1929）の童謡詩「私と小鳥と鈴と」も思い出します。

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のやうに、
地面を速くは走れない。私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

それから…、近藤宮子さん（1907～1999）が昭和6年の満州事変のころに書かれた名曲「チューリップ」でも、みんなそれぞれ素晴らしいと讃嘆しています。

咲いた 咲いた チューリップの花が
並んだ 並んだ 赤白黄色 どの花みても きれいだな

お釈迦さまはおっしゃいました。「この世の中で尊くないものなんてないんだよ」と。その心は今でもこうして生き続けているのです。

回文（かいぶん）をご存知ですか？「竹やぶ焼けた」「新聞紙」みたいに頭から読んでもお尻から読んでも同じ。しかも意味の通じるおもしろ言葉を言います。今月のB面では紙面を稼ぐため？に、これらを並べてみます。

- ◇内科では 薬のリスクは でかいな
- ◆カッコいい 国歌
- ◇確かに 貸した
- ◆カツラが 落下
- ◇たまる サルマタ
- ◆菓子与え 肥えたアシカ
- ◇イカした 歯科医
- ◆関係ない ケンカ
- ◇ママが私にした わがまま
- ◆桜取るのに パパに乗ると 楽さ
- ◇痛い 耳痛いよ 痛い 耳痛い
- ◆済まねえ 寝ます
- ◇昼メシの楽しめる日
- ◆見せなさい 小さなセミ
- ◆今朝おいしいおでんで おいしいお酒

いかがでしょうか？こういうのが回文です。では次に移ります。

- ◆日本の行政の中枢である霞が関のお役人も、カスミソウは苦手らしい
『ウソ見透かす カスミソウ』
◇何かと取りざたされるなんとか学園ですが…
『見事な穴と ゴミ』
- ◆証拠となる記述はあったのか、なかったのか…
『もめる メモ』
◇でも結局のところは…
『うまく かくまう』
- ◆「大丈夫、大丈夫！」と国も都もおっしゃるけれど…
『完全安心安全か？？？』
『理念までマンネリ』となれば『怒りも理解』できるっしょ
◇挙げ句の果ては厚顔無恥に居直りか？
『世の中ね 顔か お金かなのよ』だってさ

たまにはユーモアでリラックスして頂くつもりでしたのに、「なんだか腹が立ってきた！」とお怒りの方もいらっしゃるかも。お詫びのしるしに、見事な回文を…

『ながよの 遠の眠りの 皆目覚め 波乗り船の 音の良きかな』